

文化施設等のあり方検討のためのアンケート調査結果

対象者：常滑市在住の人

内容：共通項目➡年齢、居住地区、利用頻度（有無）、図書館のあり方、複合化に対する考え方、ホールの規模、電子書籍の利用有無

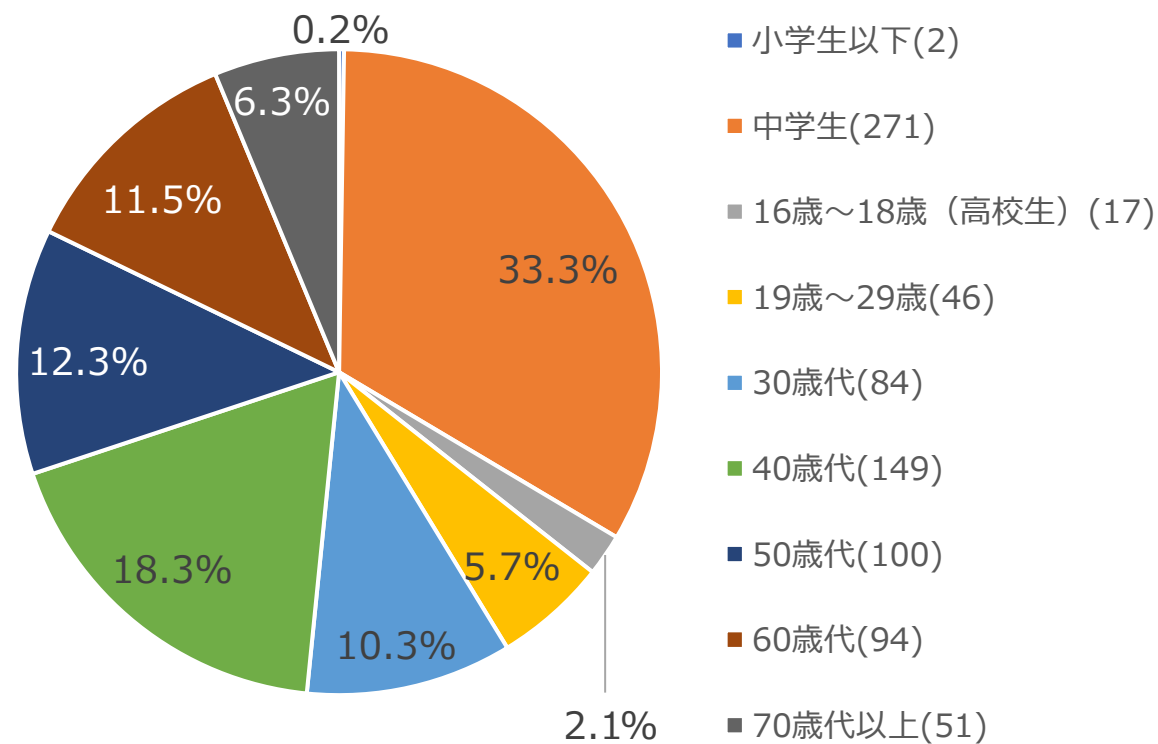
利用者のみ➡分散移転後の利用頻度の変化、図書館に求めるもの

非利用者のみ➡各図書館の認知度、利用しない理由、どのような図書館であれば利用するのか

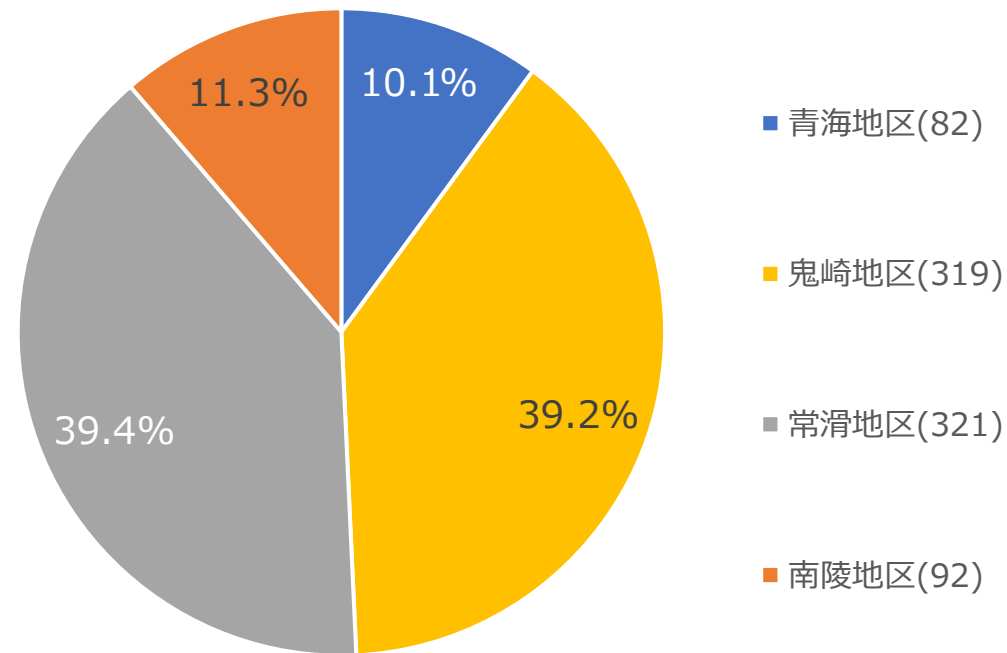
実施期間：令和6年6月25日～令和6年7月26日

回答数：814（うち紙回答45）

1. 年齢及び居住地区

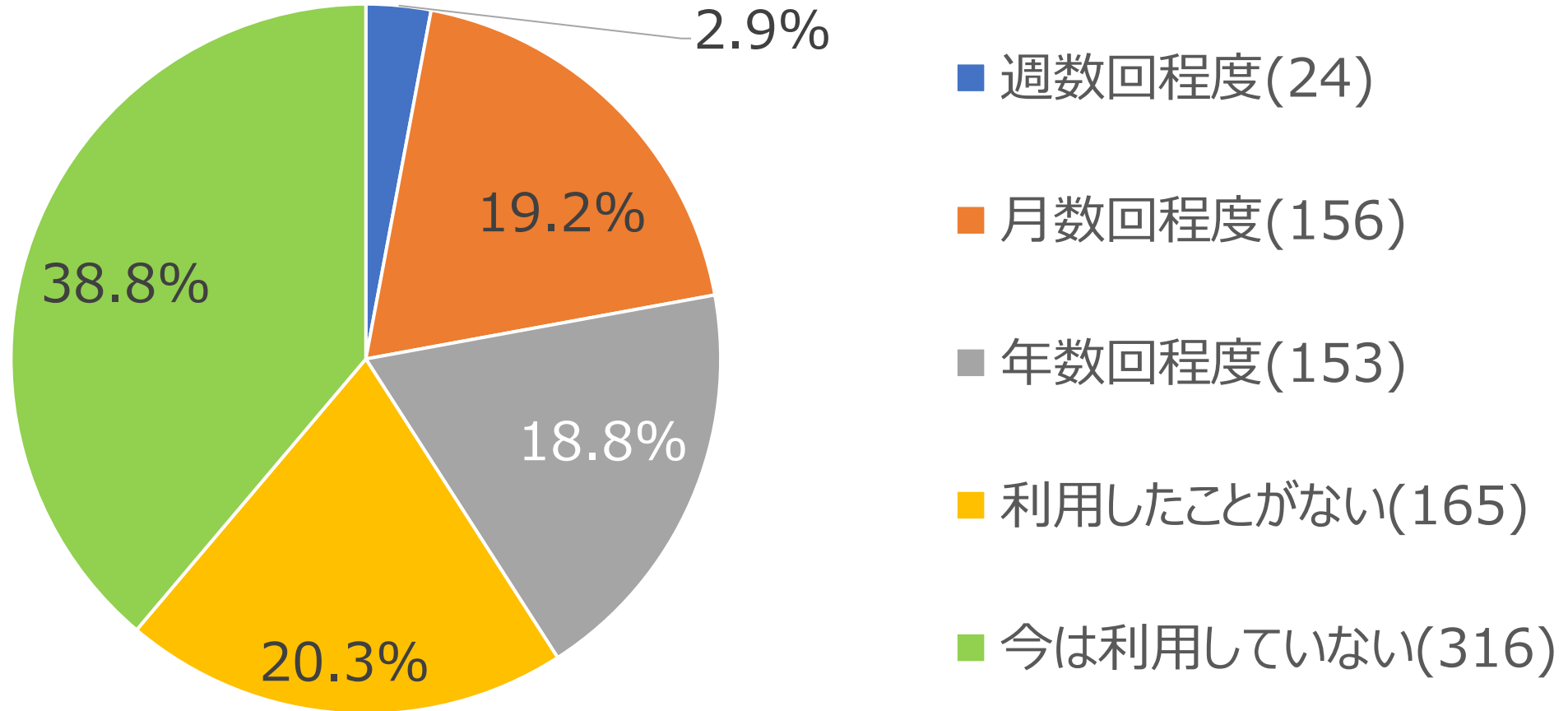


- ・中学生が全体の3分の1
- ・40歳代が全体の5分の1



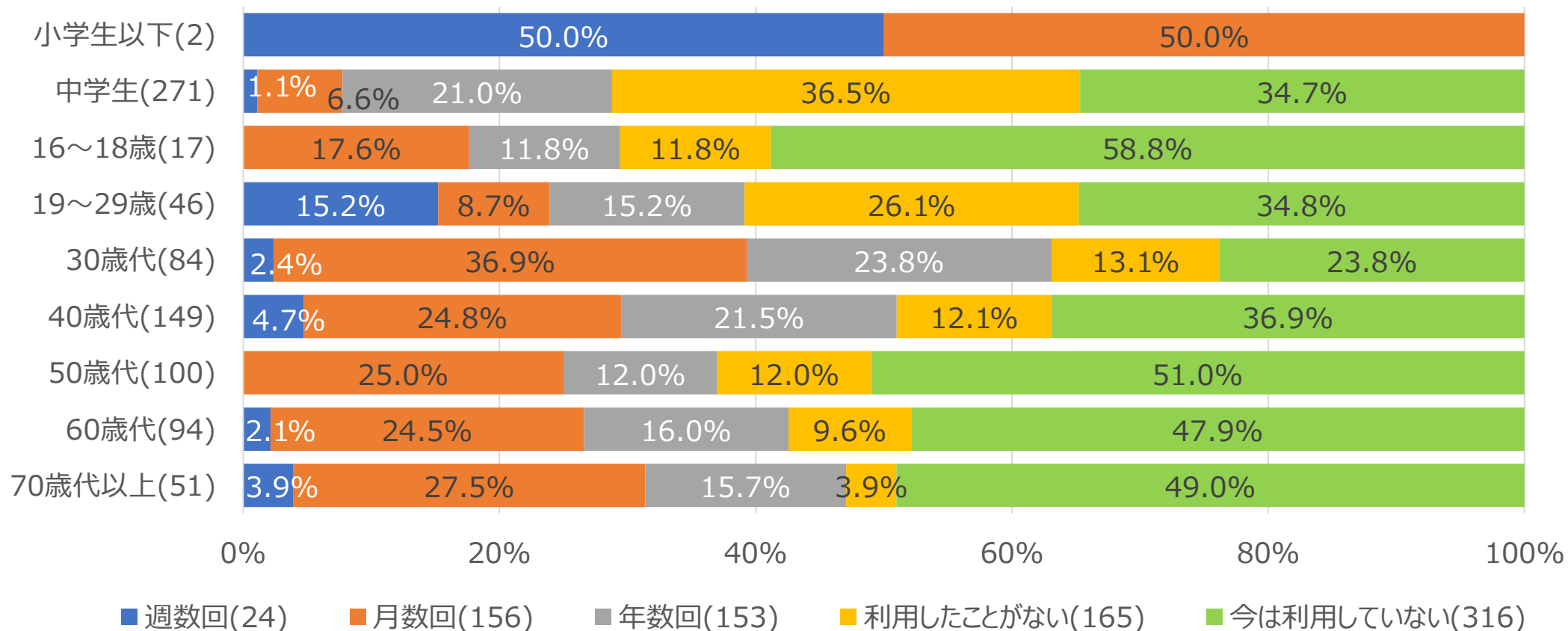
- ・常滑地区と鬼崎地区→が全体の4割ずつ

📄 2. 利用頻度（有無）



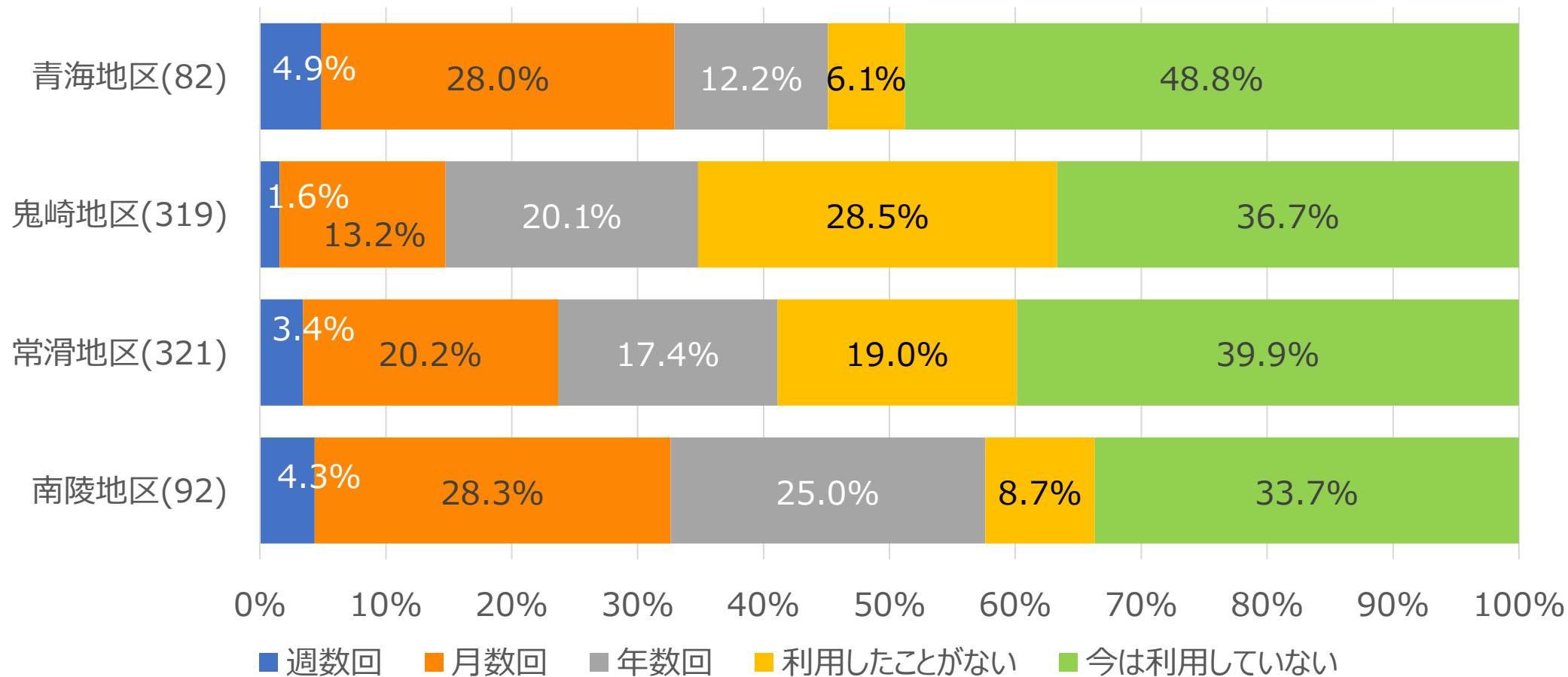
- ・最も割合が高かったのは「**以前は利用していたが、今は利用していない**」で約4割
- ・次いで「**月数回程度**」、「**年数回程度**」、「**利用したことがない**」が全体の5分の1ずつ

2-1. 利用頻度（有無）（年齢別）



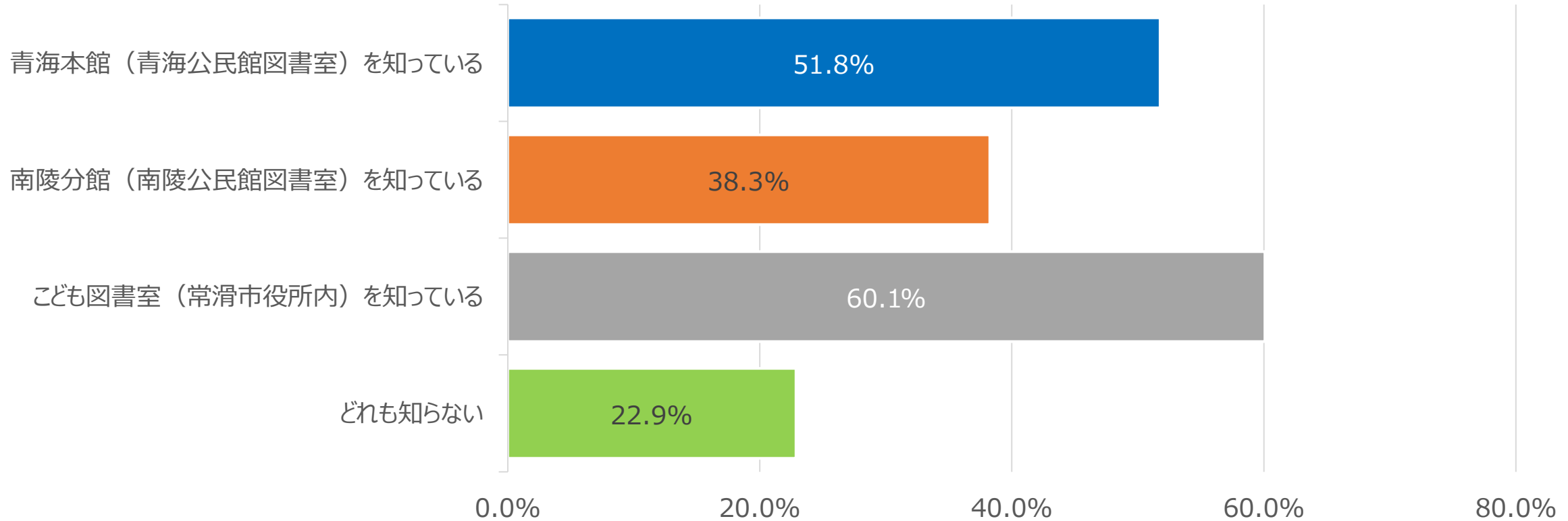
- ・中学生は「利用したことがない」の割合が他の年代よりも高い
- ・16～18歳は「以前は利用していたが、今は利用していない」の割合が他の年代よりも高い

2-2. 利用頻度（有無）（居住地区別）



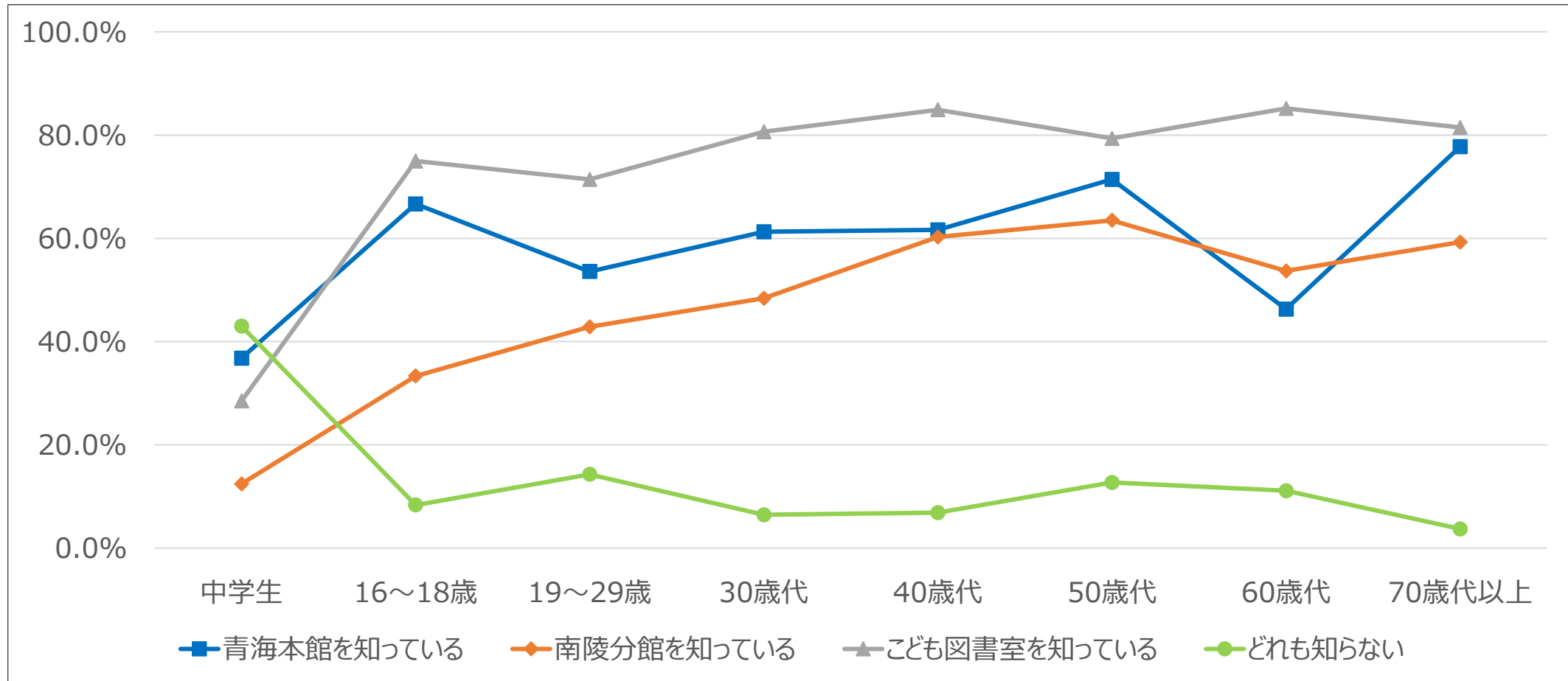
- 青海地区は「今は利用していない」の割合が他の地区より高い
- 鬼崎地区は「利用したことがない」の割合が他の地区より高い
- 青海・南陵地区は「月数回」の割合が他の地区より高い

3. 各図書館の認知度について（複数回答可）



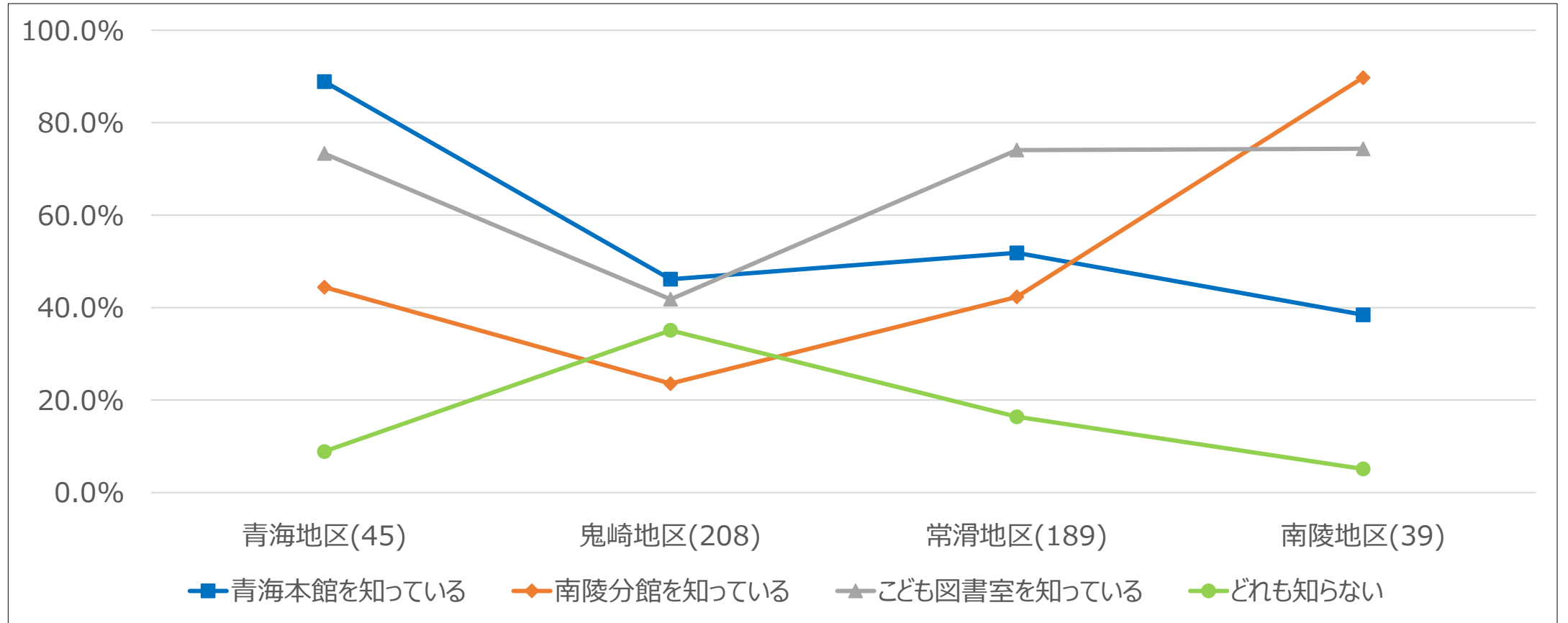
- 最も認知されているのは「こども図書室」の6割
- 「青海本館」が約5割、「南陵分館」が約4割
- 3館とも知っているのは、全体の約3割

3-1. 各図書館の認知度について（年齢別）



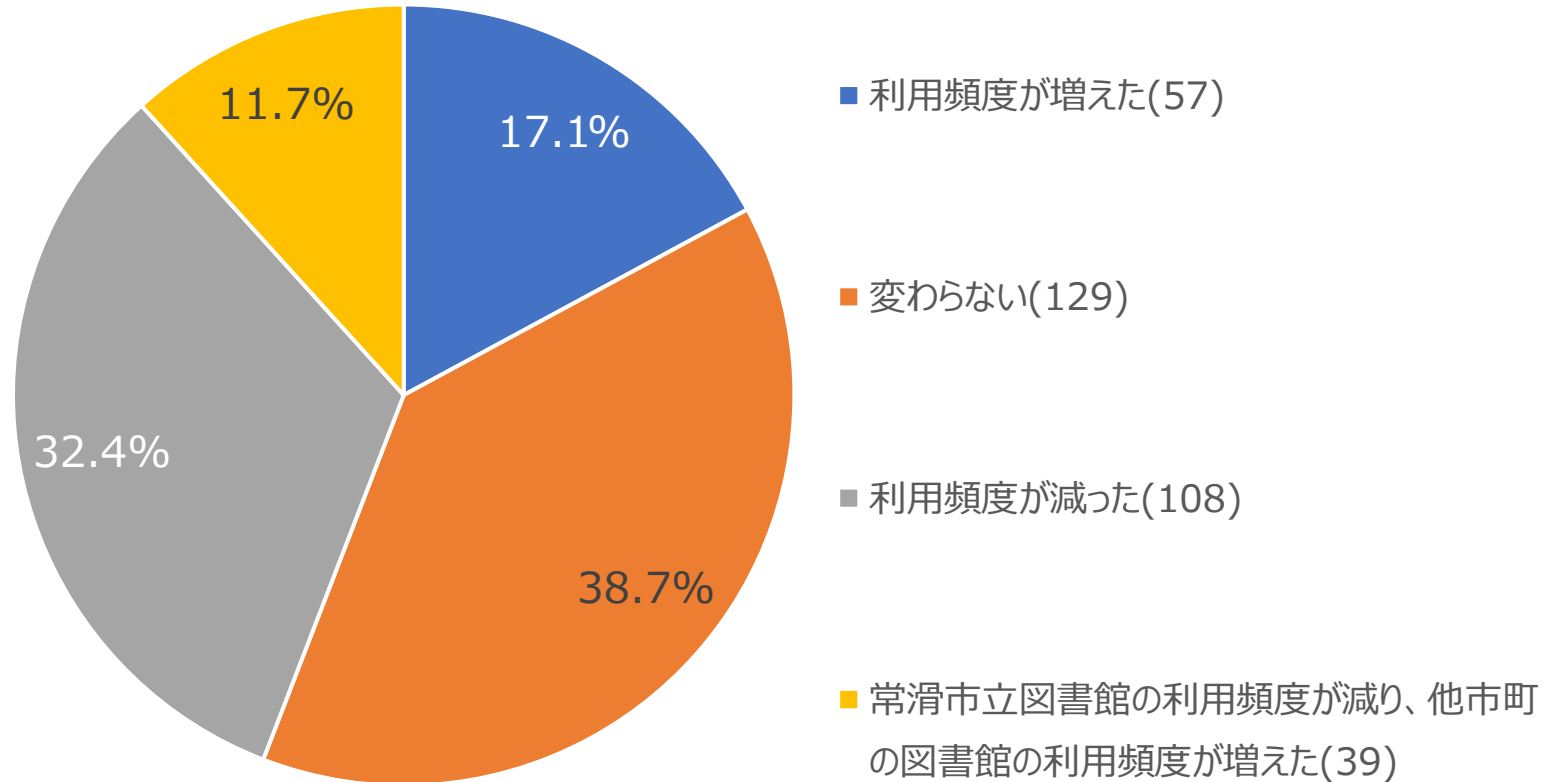
- ・中学生は「**どれも知らない**」の割合が他の年代よりも高く、各図書館の認知度も低い
- ・50歳代は青海本館・南陵分館・こども図書室の3館とも知っている人の割合が他の年代よりも高い

3-2. 各図書館の認知度について（居住地区別）



- 鬼崎地区は「**どれも知らない**」の割合が他の地区よりも高く、こども図書室よりも青海本館の認知度が高い
- 青海地区では「**青海本館**」、南陵地区では「**南陵分館**」の認知度が最も高い

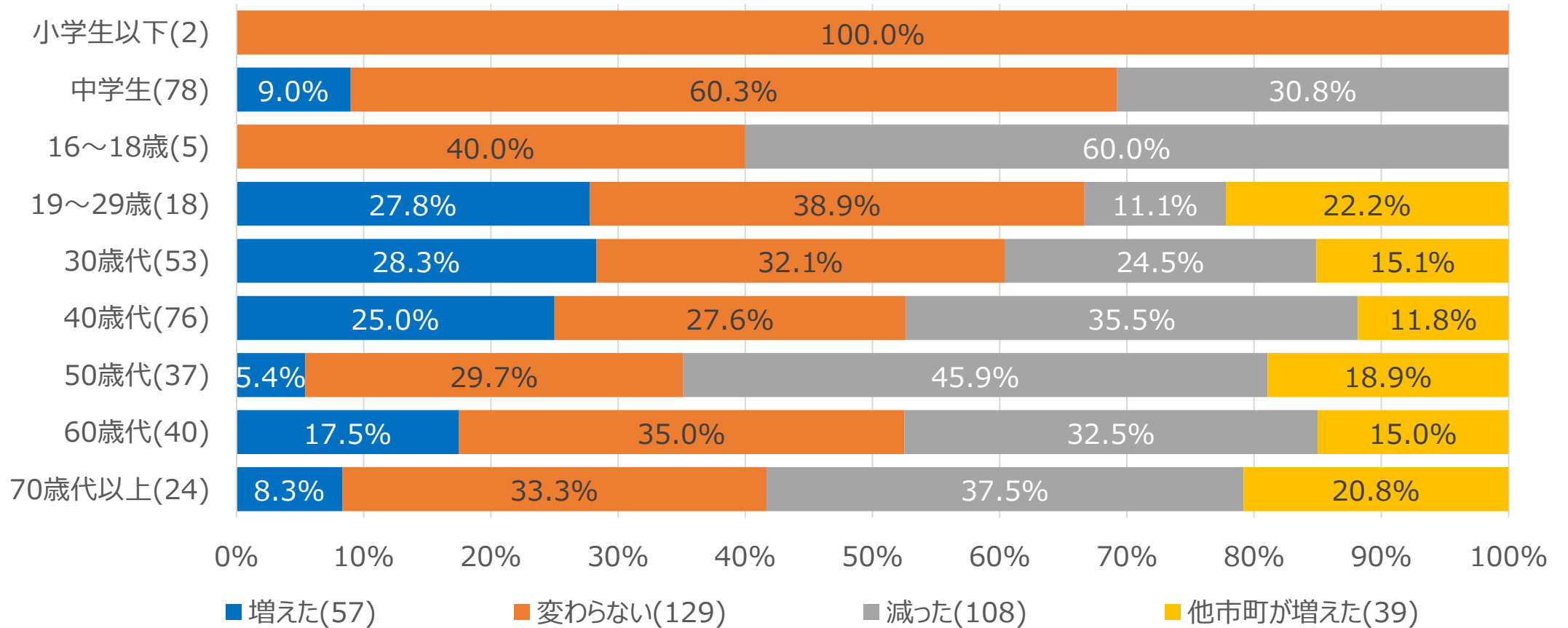
4. 分散移転後の図書館の利用頻度の変化



- ・最も割合が高かったのは「**変わらない**」で約4割
次点で「**利用頻度が減った**」が約3割

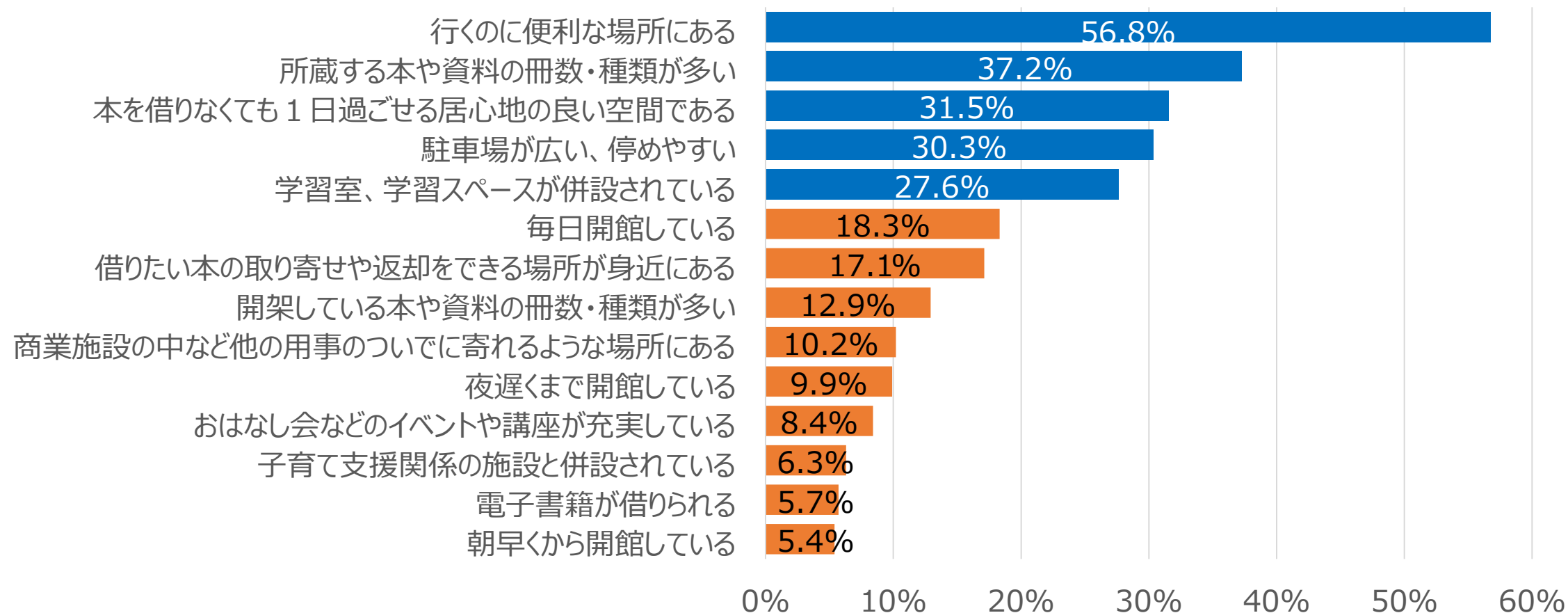


4-1. 分散移転後の図書館の利用頻度の変化（年齢別）



・19歳以上では「他市町の図書館の利用頻度が増えた」の割合が一定数ある

5. 図書館に求めるもの（複数回答可）



- ・回答割合が高かったのは「行くのに便利な場所にある」、「所蔵する本や資料の冊数・種類が多い」、「本を借りなくても1日過ごせる居心地の良い空間である」、「駐車場が広い、止めやすい」、「学習室、学習スペースが併設されている」

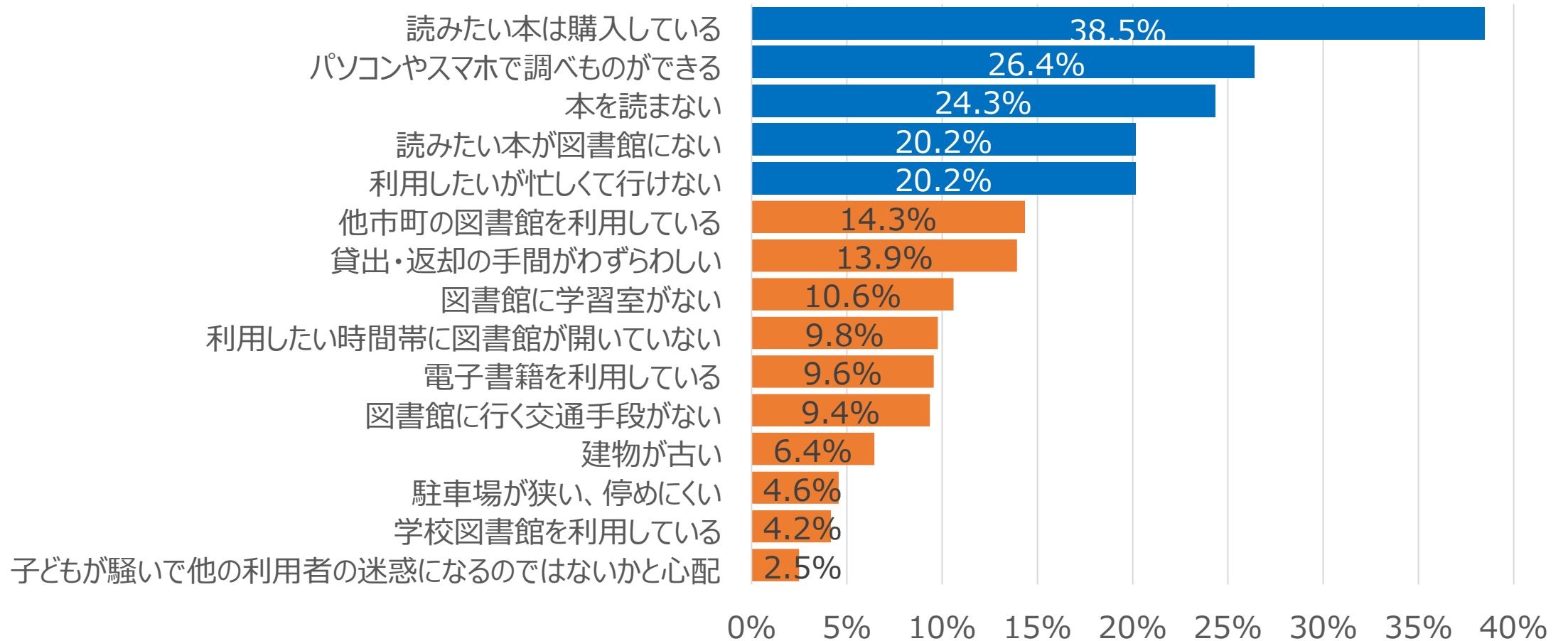
5 - 1. 図書館に求めるもの（年齢別）

	合計	小学生 以下	中学生	16歳～ 18歳	19歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
行くのに便利な場所にある	1位	2	48	4	5	28	43	20	24	15
所蔵する本や資料の冊数・種類が多い	2位	0	25	2	7	25	31	14	12	8
本を借りなくても1日過ごせる居心地の良い空間である	3位	0	25	1	5	17	25	12	10	10
駐車場が広い、停めやすい	4位	2	9	0	4	21	28	14	17	6
学習室、学習スペースが併設されている	5位	0	28	2	6	15	23	9	5	4
毎日開館している	6位	0	15	1	2	8	12	9	7	7
借りたい本の取り寄せや返却をできる場所が身近にある	7位	0	11	0	1	7	12	8	13	5
開架している本や資料の冊数・種類が多い	8位	0	6	1	4	4	11	4	7	6
商業施設の中など他の用事のついでに寄れるような場所にある	9位	0	4	0	4	6	5	7	7	1
夜遅くまで開館している	10位	1	8	1	3	5	7	4	4	0
おはなし会などのイベントや講座が充実している	11位	0	4	0	2	8	8	0	2	4
子育て支援関係の施設と併設されている	12位	0	0	0	4	9	6	1	1	0
電子書籍が借りられる	13位	1	7	0	2	1	4	1	2	1
朝早くから開館している	14位	0	8	0	2	0	4	1	3	0
実人数	333	2	78	5	18	53	76	37	40	24

- ・どの世代も「行くのに便利」な場所にある」、「所蔵する本や資料の冊数・種類が多い」の割合は高い
- ・「学習室、学習スペースが併設されている」は若年層の割合が高い



6. 図書館を利用しない理由（複数回答可）



・割合が高かったのは「読みたい本は購入している」、「パソコンやスマホで調べものができる」、「本を読まない」、「読みたい本が図書館にない」、「利用したいが忙しくて行けない」



6 - 1. 図書館を利用しない理由（年齢別）

	合計	小学生 以下	中学生	16～ 18歳	19～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
読みたい本は購入している	1位	0	112	2	4	10	17	18	14	8
パソコンやスマホで調べものができる	2位	0	61	0	5	4	13	13	23	8
本を読まない	3位	0	74	2	6	5	8	9	8	5
読みたい本が図書館にない	4位	0	40	3	2	6	15	11	14	6
利用したいが忙しくて行けない	4位	0	33	4	7	8	13	17	12	3
他市町の図書館を利用している	6位	0	7	1	5	6	16	12	11	11
貸出・返却の手間がわずらわしい	7位	0	28	0	3	7	12	8	7	2
図書館に学習室がない	8位	0	6	6	5	5	9	8	10	2
利用したい時間帯に図書館が開いていない	9位	0	1	1	4	3	13	12	11	2
電子書籍を利用している	10位	0	24	0	1	4	6	6	4	1
図書館に行く交通手段がない	11位	0	21	4	6	3	5	4	2	0
建物が古い	12位	0	8	1	2	1	10	3	2	4
駐車場が狭い、停めにくい	13位	0	1	0	2	2	4	5	4	4
学校図書館を利用している	14位	0	16	2	1	0	1	0	0	0
子どもが騒いで他の利用者の迷惑になるのではないかと心配	15位	0	5	0	1	1	4	1	0	0
実人数	481	0	193	12	28	31	73	63	54	27

- ・中学生は特に他の年代と比較しても「本を読まない」「読みたい本は購入している」の割合が高い
- ・16～18歳は「学習室がない」の割合が他の世代より高い

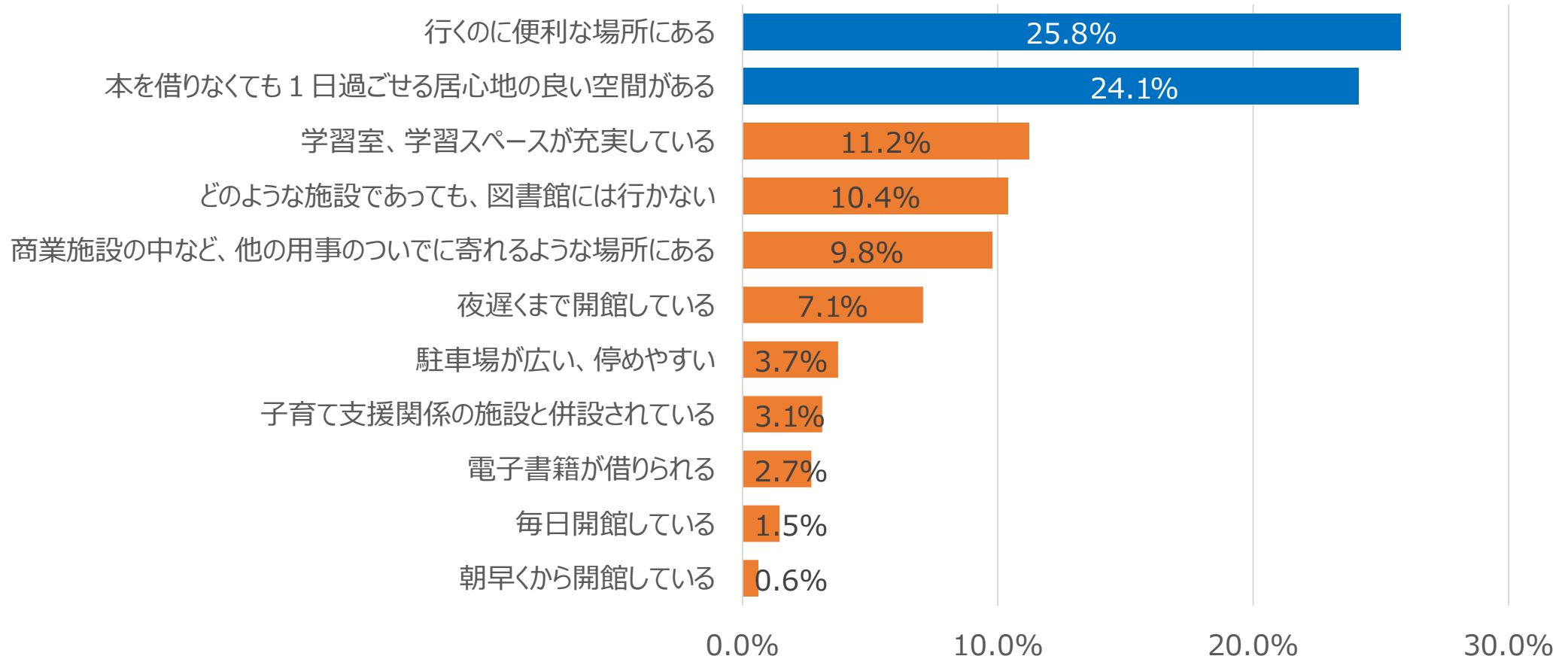


6-2. 図書館を利用しない理由（居住地区別）

	合計	青海地区	鬼崎地区	常滑地区	南陵地区
読みたい本は購入している	1位	14	99	58	14
パソコンやスマホで調べものができる	2位	12	56	47	12
本を読まない	3位	8	63	38	8
読みたい本が図書館にない	4位	7	45	36	9
利用したいが忙しくて行けない	4位	11	40	41	5
他市町の図書館を利用している	6位	12	18	29	10
貸出・返却の手間がわずらわしい	7位	5	33	26	3
図書館に学習室がない	8位	7	15	26	3
利用したい時間帯に図書館が開いていない	9位	6	14	23	4
電子書籍を利用している	10位	2	21	21	2
図書館に行く交通手段がない	11位	0	25	19	1
建物が古い	12位	7	7	12	5
駐車場が狭い、停めにくい	13位	2	6	13	1
学校図書館を利用している	14位	1	14	4	1
子どもが騒いで他の利用者の迷惑になるのではないかと心配	15位	1	5	5	1
実人数	481	45	208	189	39

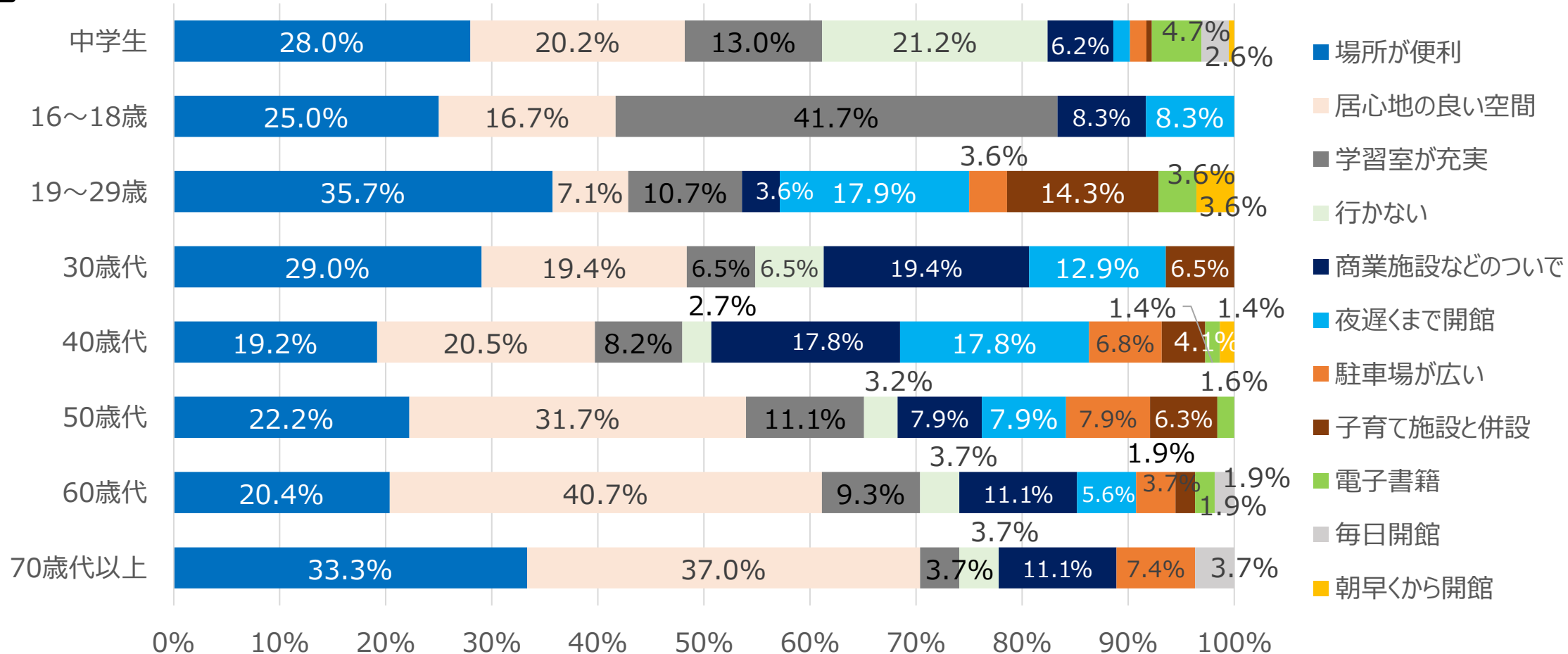
- ・鬼崎地区は他の地区より「**本を読まない**」、「**読みたい本は購入**」の割合が高い
- ・青海・南陵地区は「**他市町の図書館を利用している**」の割合が他の地区より高い

7. どのような図書館であれば利用するか



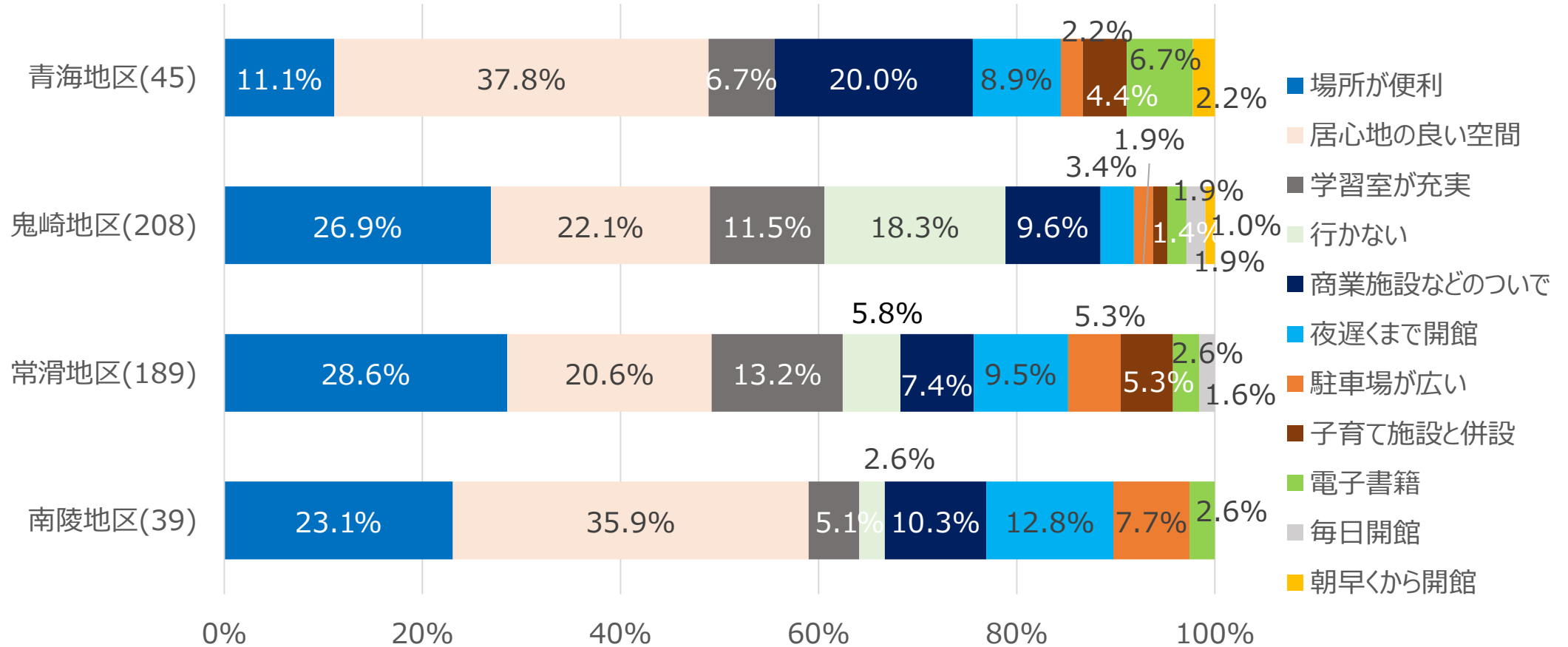
- ・「行くのに便利な場所にある」、「本を借りなくても1日過ごせる居心地の良い空間がある」の割合が高い
- ・「どのような図書館であっても、図書館には行かない」の割合も高い

7-1. どのような図書館であれば利用するか（年齢別）



- 16～18歳は、「学習室、学習スペースが充実している」の割合が他の世代より高い
- 19～40歳代は「夜遅くまで開館している」の割合が高い
- 年齢が上がるほど「居心地の良い空間」の割合が高くなる傾向にある

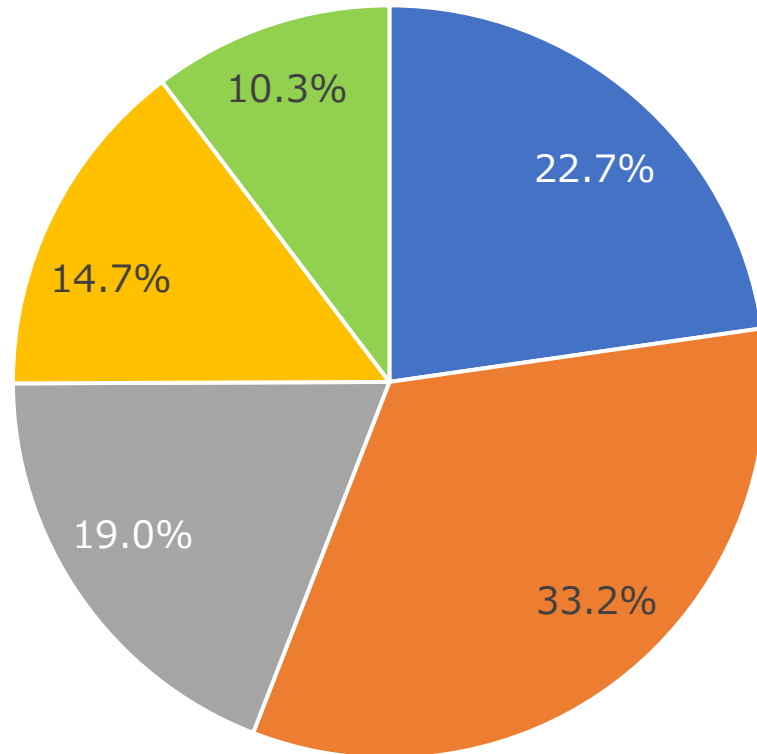
7-2. どのような図書館であれば利用するか（居住地区別）



- 青海地区は他の地区より「商業施設などのついで利用」の割合が高い
- 鬼崎地区は「行かない」の割合が他の地区より高い
- 青海・南陵地区は「居心地の良い空間」の割合が他の地区より高い

8. 図書館のあり方について

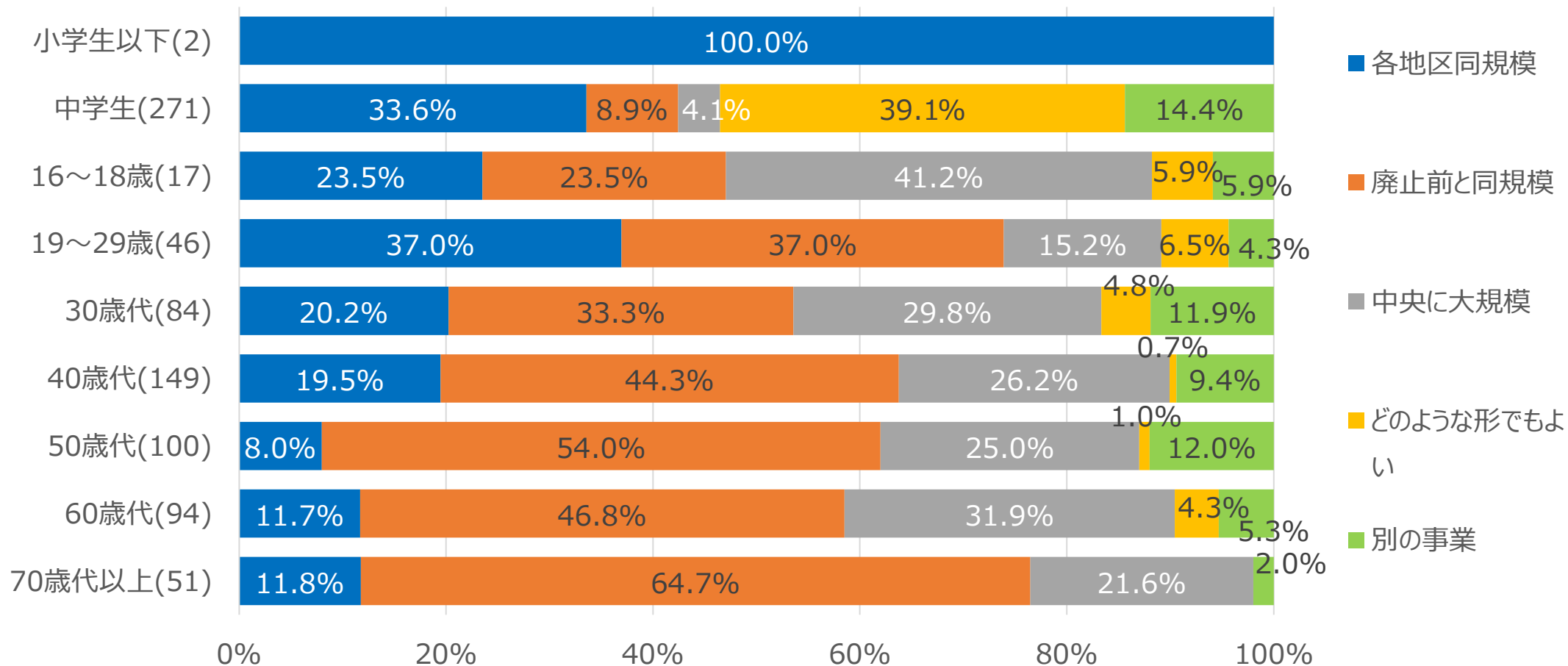
常滑市における図書館のあり方について、どのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。



- 各地区（北・中央・南）に同程度の規模の図書館があるとよい(185)
- 市の中央部（常滑地区）に「図書館本館」を整備し、青海公民館図書室と南陵公民館図書室は「分館」（本館よりも小規模）を置くのがよい(270)
- 市の中央部（常滑地区）に大きな「図書館本館」を整備すれば、青海公民館図書室と南陵公民館図書室はなくてもよい(155)
- 自分にはあまり関係がないので、どのような形でもよい(120)
- 図書館の整備には費用をかけず、別の事業に費用をかけてほしい(84)

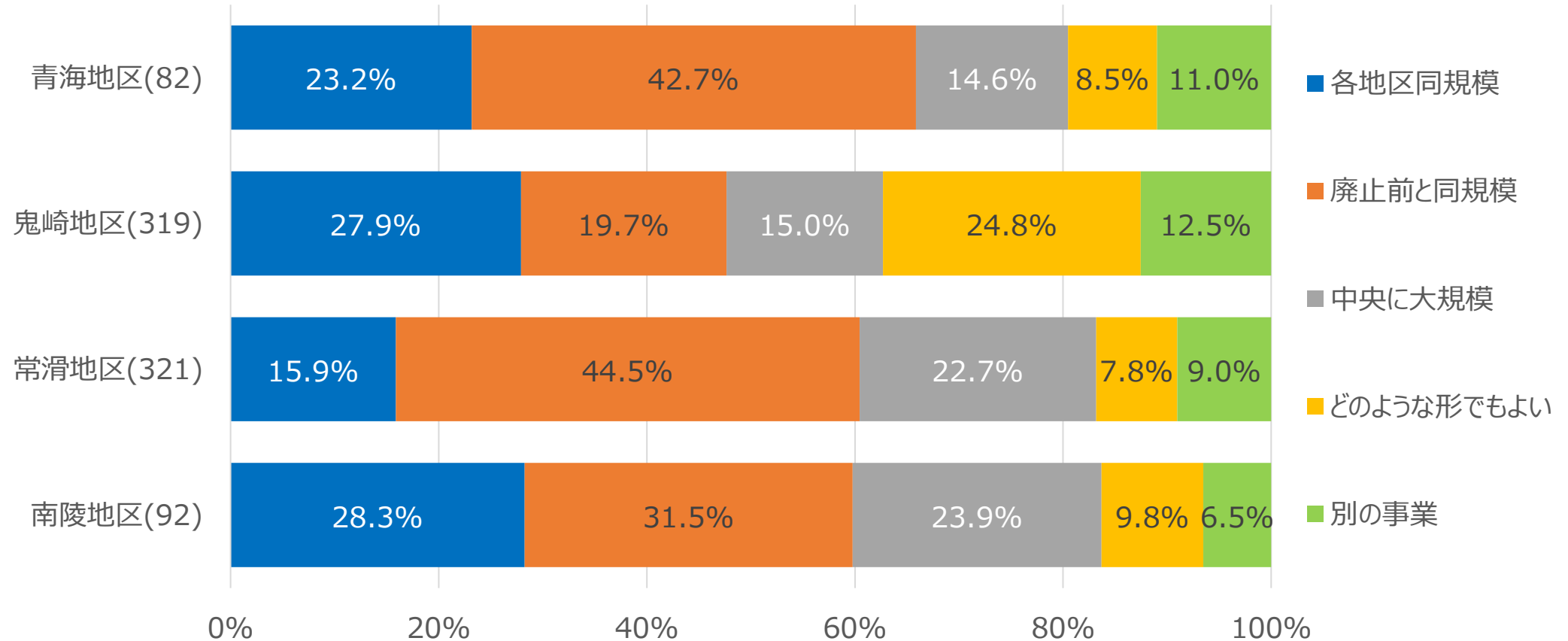
・最も多かったのは「**市の中央部に図書館本館を整備し、青海・南陵地区の分館を維持する**」
次いで多かったのが「**各地区に同程度の規模の図書館があるとよい**」

8-1. 図書館のあり方について（年齢別）



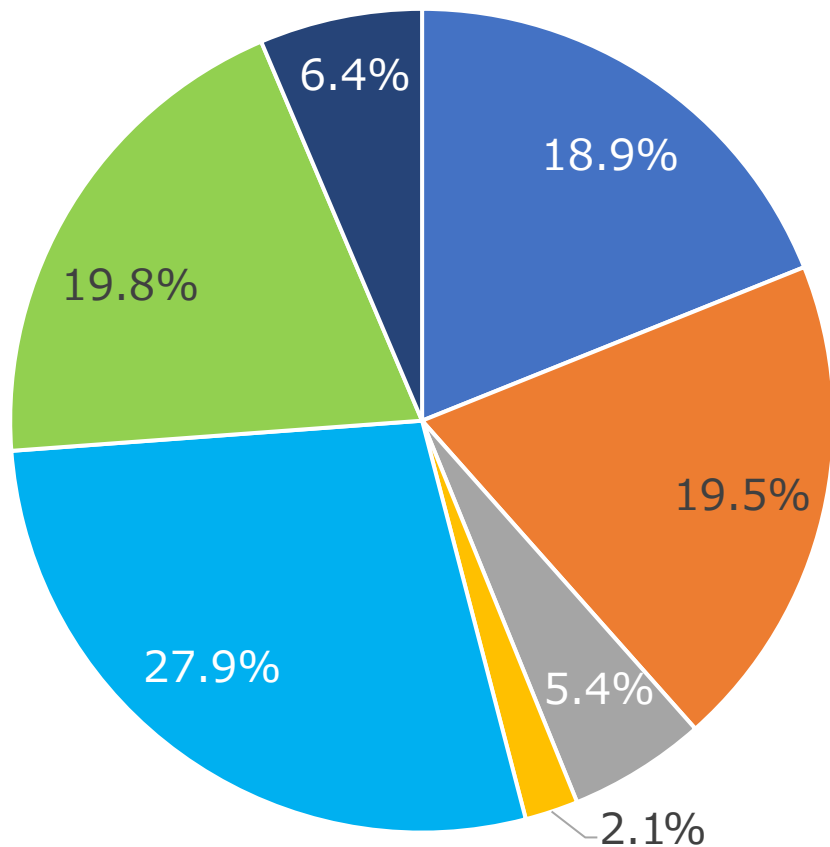
- 年齢が上がるほど「**廃止前と同規模**」の割合が増える傾向にある
- 16～18歳の非利用者は「**各地区に同規模**」の割合が同年代の利用者よりも高い

8-2. 図書館のあり方について（居住地区別）



- 鬼崎地区は「**どのような形でもよい**」の割合が他の地区よりも高く、特に非利用者だとその傾向がより強い
- 青海・常滑地区は「**廃止前と同規模**」の割合が高く、特に常滑地区の利用者はその傾向がより強い

9. 文化施設との複合化について



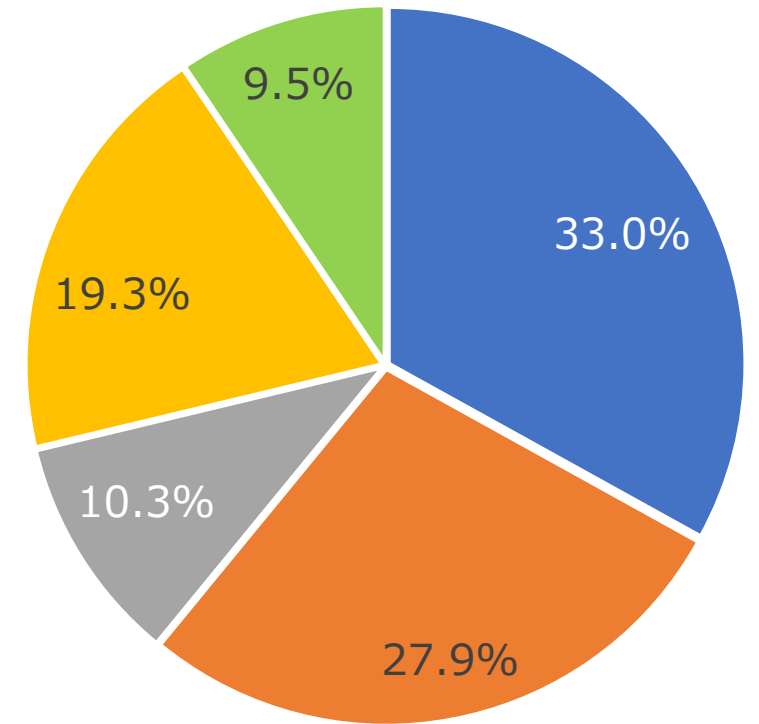
- 図書館・文化会館・中央公民館は全て併設されているのがよい(154)
- 図書館と文化会館・中央公民館は別々の方がよい(159)
- 図書館と中央公民館は併設されているのがよいが、文化会館は別がよい(44)
- 図書館と文化会館は併設されているのがよいが、中央公民館は別がよい(17)
- 建築費やその後の維持管理費など経費面でメリットがある方法がよい(227)
- 自分にはあまり関係がないので、どのような形でもよい(161)
- 図書館・文化会館・中央公民館には費用をかけず、別の事業に費用をかけてほしい(52)

- ・最も多かったのは「経費面でメリットがある方法がよい」
- ・「別の事業に費用をかけてほしい」を選択した人は約6%

10. ホールの規模について

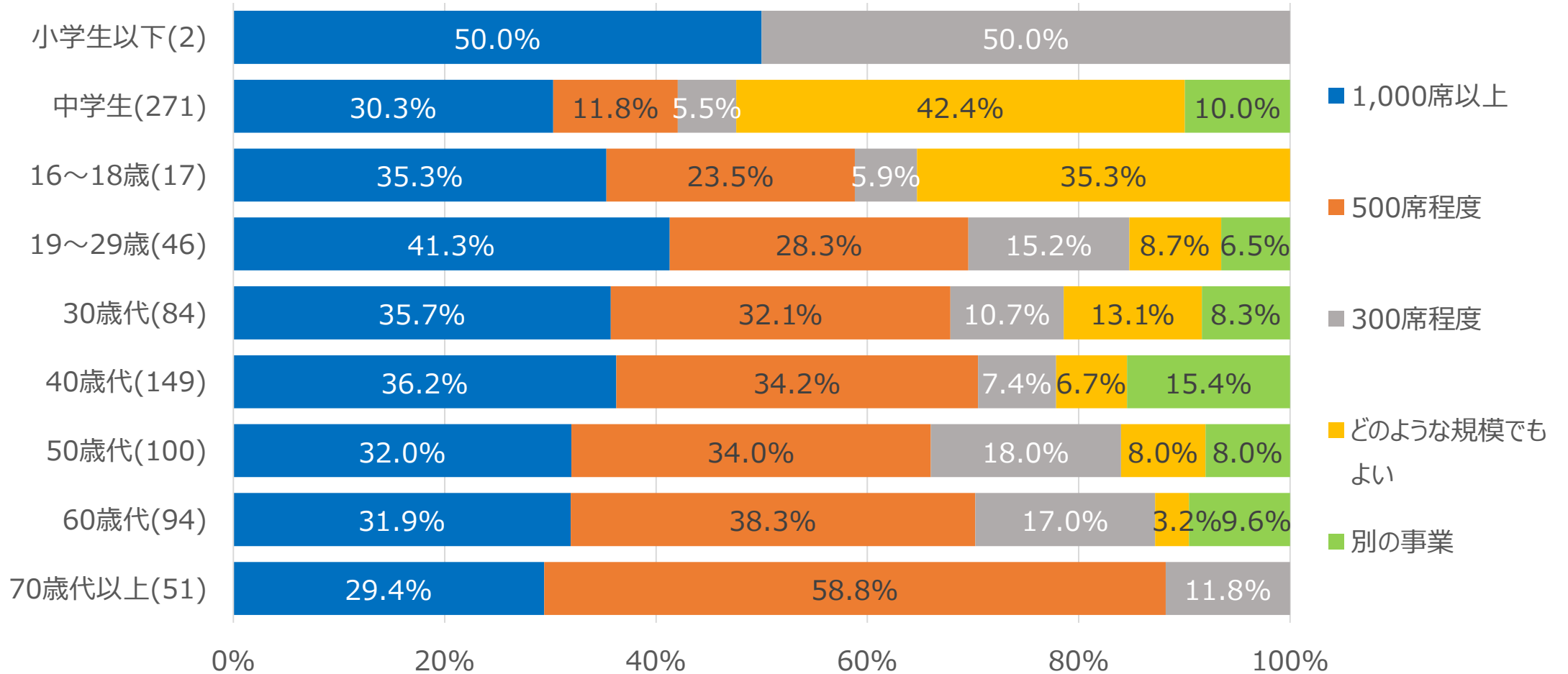
常滑市におけるホールの規模について、どの規模が適切だと思えますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- ①コンサートなどの興行が行える規模（客席数1,000席以上）が必要。
 - ②二十歳のつどい（旧成人式）や各団体の比較的規模の大きい演奏会・発表会、講演会、中学校・高校の発表会などに行える規模があれば、コンサートなどの興行が行える必要はない（客席数500席程度）
 - ③市民の発表会、講演会、演奏会などに行える規模（客席数300席程度）があればよい。
 - ④自分にはあまり関係がないので、どのような規模でもよい
 - ⑤ホールの整備には費用をかけず、別の事業に費用をかけてほしい
- ・最も割合が高かったのは「1,000席以上」で約30%。次点が「500席程度」
 - ・「別の事業に費用をかけてほしい」の割合は約10%



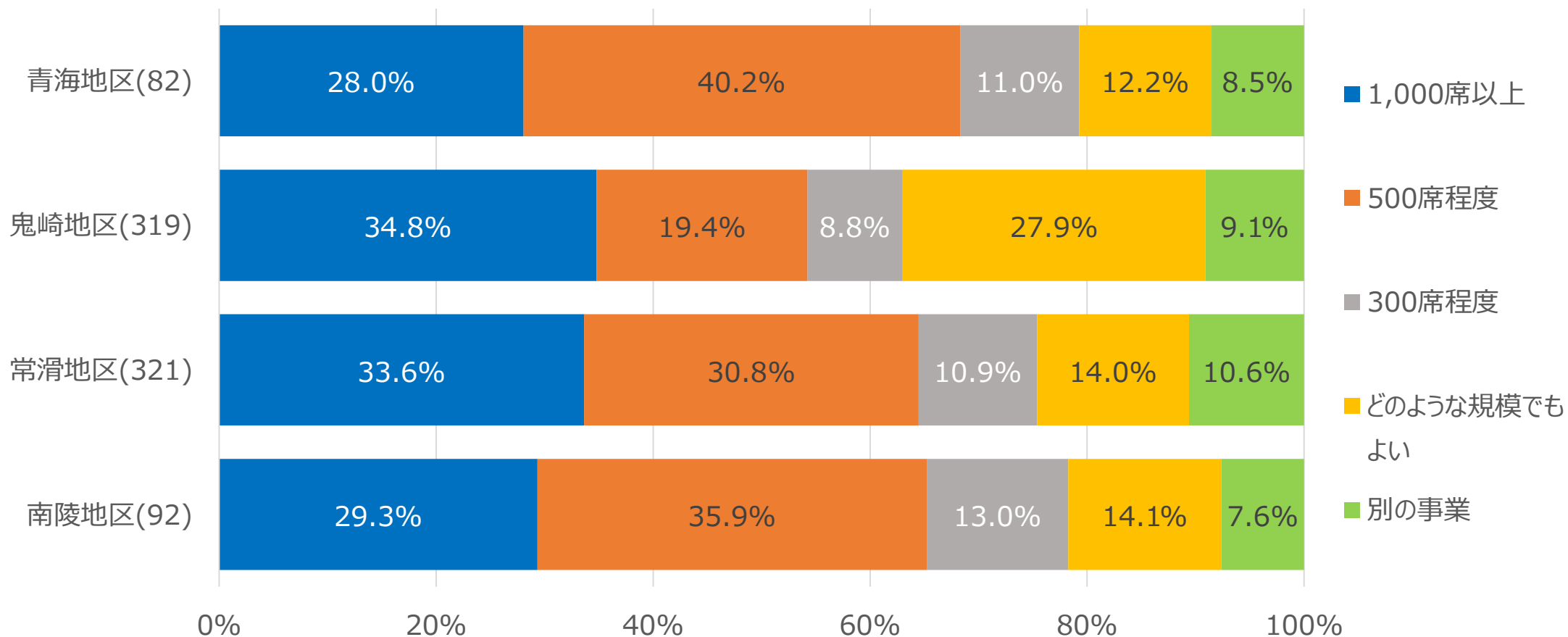
- 1,000席以上(269)
- 500席程度(227)
- 300席程度(84)
- どのような規模でもよい(157)
- 別の事業に費用をかけてほしい(77)

10-1. ホールの規模について（年齢別）



・中学生、16～18歳は「**どのような規模でもよい**」の割合が他の年代よりも高い

10-2. ホールの規模について（居住地区別）



・鬼崎地区は「**どのような規模でもよい**」の割合が他の地区より高い

9. 図書館・ホール等の整備の代わりに費用をかけてほしい事業（自由記載）

分類	件数	割合	主なもの
子育て支援	28	33.3%	給食費免除、公共の室内遊戯場の整備
インフラ（施設）整備	21	25.0%	歩道整備、道路の維持管理、学校の修繕、公共施設のトイレ整備
教育	15	17.9%	小学校の国際交流の再開、学校の備品購入
福祉	12	14.3%	障がい者支援、高齢者対策、健康施策
公共交通	11	13.1%	グルーンの増便、移動手段の追加

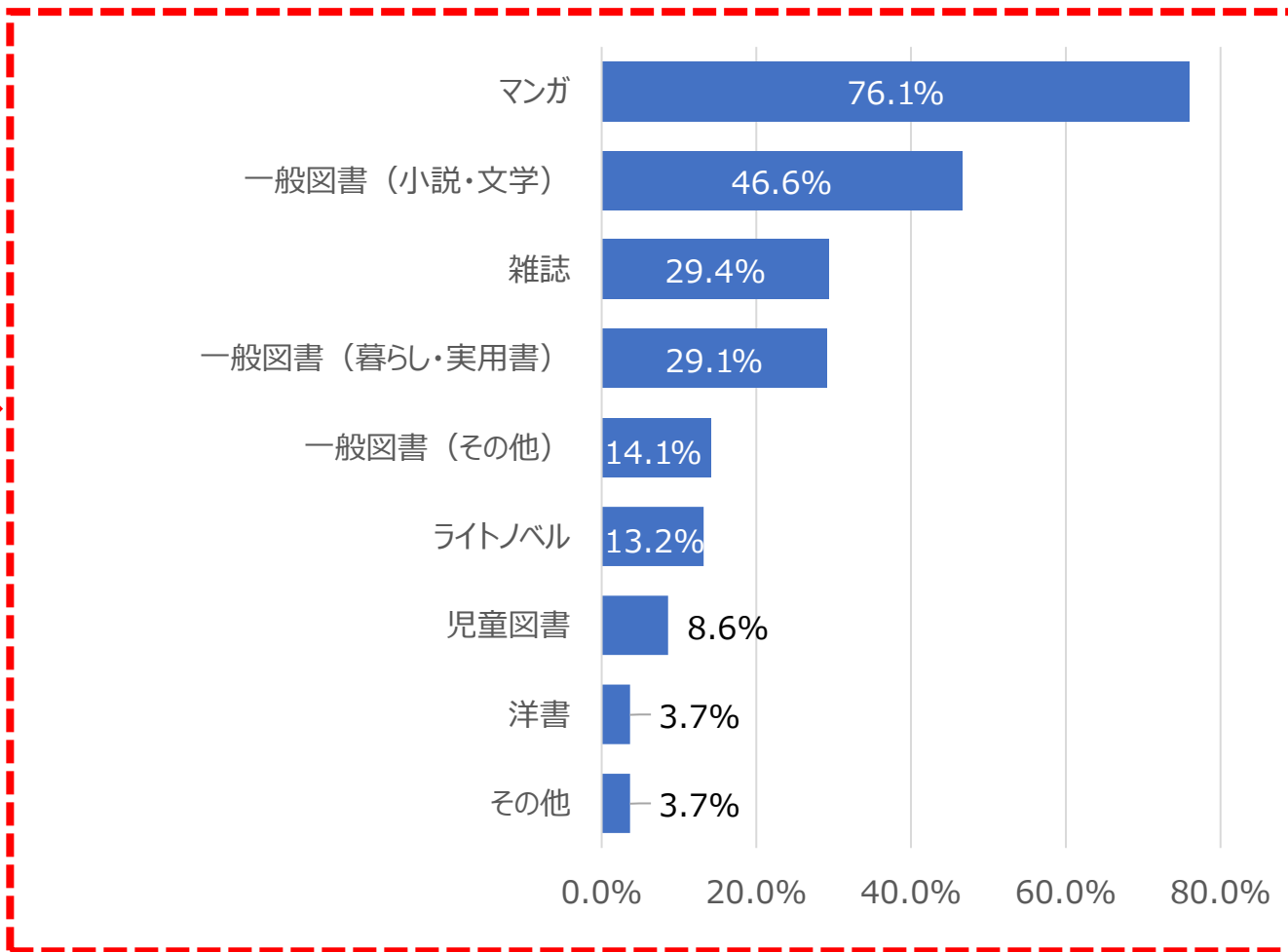
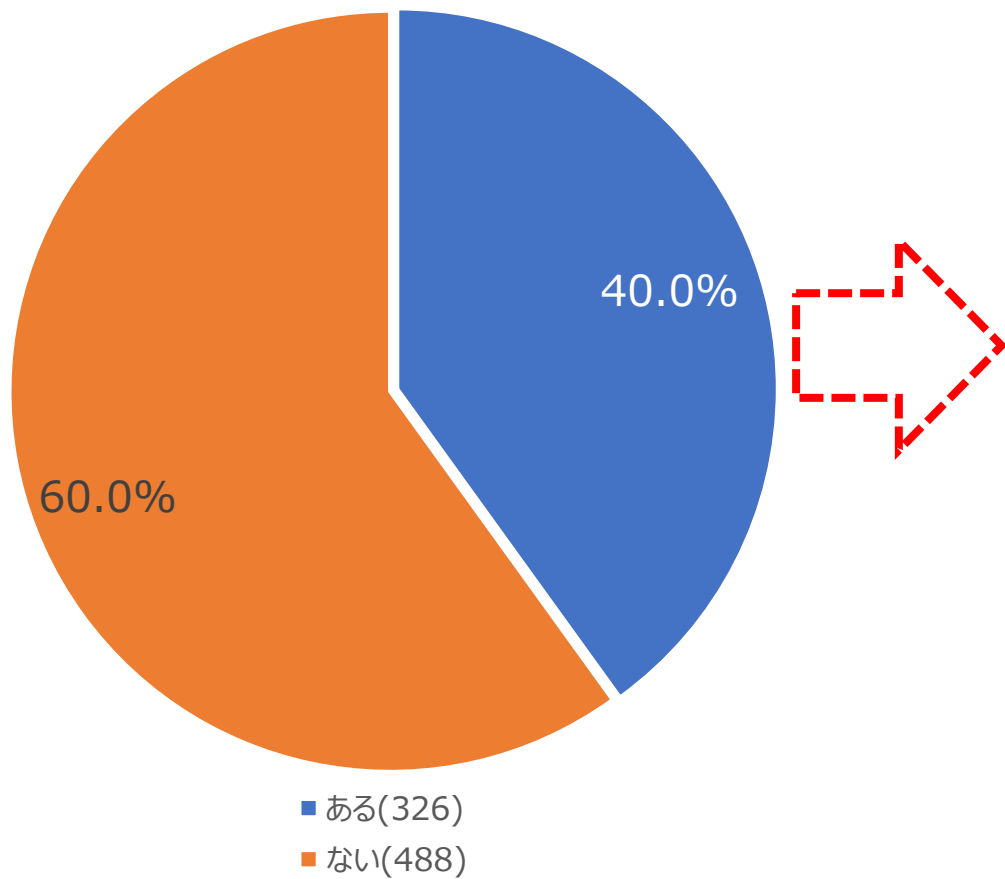
※本項目の回答者数（84名）で計算

10. 図書館に併設されているとよい施設・機能（自由記載）

分類	件数	割合	主なもの
飲食施設	174	50.6%	カフェ、喫茶店、食堂、レストラン、飲食店
学習室	63	18.3%	学習室、自習室、個室学習室、ワーキングスペース
スペース	55	16.0%	落ち着いて読書できるスペース、話し合いができるスペース、ギャラリー、情報発信スペース、レンタルオフィス、シアタールーム
子育て支援施設	48	14.0%	公園、子育て支援センター、子どもの遊び場、託児所、保育園、幼稚園
商業施設	33	9.6%	ショッピングセンター、アンテナショップ、コンビニ、イオン、インターネットカフェ
図書館に関する要望	31	9.0%	マンガコーナー・デジタルブックシェルフ・Web書棚の設置、蔵書数の増加

※本項目の回答者数（344名）で計算

11. 電子書籍の利用状況について



12. 図書館のあり方（自由記載）

- 大人も子どもの双方が十分に利用できる図書館がほしい
- 市の中央に図書館がほしい
- 子どもも大人も利用できる学習室がほしい
- 人が集えたり、作業に使えたりするような多目的なスペースがほしい
- 現状（青海本館、こども図書室、南陵分館）のあり方に満足している
- 法に規定された図書館でなければできないことがあるかもしれないが、それがどれほどの影響があるものなのか
- 貴重な蔵書は別に貸出されるようにしてもいいと思うが、電子書籍で補えるものは切り替えていく方がいいと思う

13. ホールのあり方（自由記載）

- ・規模が大きい必要はない
- ・イオンホールや愛知県国際展示場など市内の別のホールや近隣自治体の施設を上手く活用すればいいのではないか
- ・維持費もかかるので、適切な規模がよい
- ・今の文化会館の大ホールはまだまだ立派なので、あと20年ぐらい延命してはどうか
- ・大きさはばかり求めるのではなく、使いやすさを求める
- ・500席のホールでよいが、座席・バックヤードが設備してあるとよい
- ・駐車場を整備しないと不便